

## 2022 年学術・プログラム委員会活動報告書

委員長:一戸辰夫

副委員長:篠木絵理

委員:渡邊知映(第5回学術集会大会長兼任)、小澤美和、小野麻紀子、加藤那津、河田純一、岸田徹、栗原幸江、五木田茶舞、坂本はと恵、櫻井卓郎、里見絵理子、多和田奈津子、平山貴敏、向井幹夫、湯坐有希、渡邊知映、清水千佳子

### 委員会開催

第1回開催:2022年5月10日 火:19:00-20:30(場所:Zoom)

第2回開催:2022年7月4日 月:19:30-20:30(場所:Zoom)

第3回開催:2022年9月5日 月:19:00-21:00(場所:Zoom)

### 活動内容

#### 1. 第5回学術集会のプログラム策定および一般演題募集開始

- ① 学術・プログラム委員会を3回開催し、大会長ならびに各委員からの提案を吟味検討し、基調講演、2つのパネルディスカッションおよび3つのシンポジウムの企画内容を策定した。
- ② 上記に加え、事例検討を通じて当事者を行うディスカッションの企画、スポンサードレクチャー4件の企画を準備中である。
- ③ 第5回大会の一般演題募集カテゴリを、大会長及び大会事務局と協力して決定し、11月8日(火)から2023年1月6日(金)までを応募期間として演題の募集を開始した。
- ④ 学術・プログラム委員は査読委員も兼ね、一般演題の査読を行うとともに、優秀演題選出の投票を行う予定である。

#### 2. AYA 研における事例報告における同意取得について

理事長諮問委員会における検討、理事会・社員総会での承認を得て、第5回学術集会の一般演題募集時より、「AYA 研の事例報告に対する同意取得ポリシー」の適用を開始した。

### 次年度の課題と継続事項

1. AYA 研の学術活動のさらなる充実と社会への発信力向上を目指し、大会長および大会事務局と協力して、第6回学術集会の学術プログラム案を策定する。
2. 引き続き、関連する他委員会と協働・連携して、AYA 研の学術活動の一層の活性化をはかる。

以上